

## 高居翔のプロフィール

はじめまして！高居翔と申します。



実際の写真はこちら↓



似てますか？（笑）

僕は似ていると思っています（笑）

## 高居翔のプロフィール

初めましての方が多いですし  
僕のことを少しでも知って欲しいと思ったので、  
まずは簡単な自己紹介をさせてください(^^)

埼玉県生まれ、埼玉県育ちの 25 歳の男

性格はかなりの人見知りで、寂しがりやですね。

でも、仲良くなった仲間は一生大切にしたいと思うほど熱い性格でもあります。

また、A 型なので几帳面で綺麗好きです。

しかし、大学時代に心理学を勉強していたことから、  
**血液型と性格にはまったく関連がないと信じています (笑)**

趣味は旅行、バレーボール、水泳、カラオケなど、  
家の中にいるより外が好きです！

好きな食べ物は「**蕎麦**」です。

お蕎麦の良さに気付いたのは、本当に最近です (笑)  
香りや味、見た目のきれいさ、そしておつゆの香りや味

それに合わせたお店の雰囲気などで  
すごく幸せな気分になるのでお蕎麦が大好きです！

おいしいお蕎麦屋さんの紹介してくれるとすごく喜ぶます^^

ネットビジネスを開始して約半年で現在は副業として行っています。

しかし、いずれ本業として生計を立てていく予定です^^

## 高居翔のプロフィール

小さいころは、両親の前ではずっと「いい子」を演じていました。

期待に背いてはいけないと必死に勉強も頑張っていました。

それでも親の期待を背負って生きてきたことに悔やんでいません。  
勉強も頑張ってたよかったですと思っています^^

しかし、当時は両親のために必死になるのが辛かった・・・。

**自分は、親の人生を生きていくのだと思っていました。**

また、仕事でも同じでした。  
上司の前では「いい子」を演じなければうまくやっていたのです。

いい子を演じることですべてがうまくいくので、  
それは自分が自分ではないような気がして仕方ありませんでした。

しかし、ネットビジネス・アフィリエイトに出会って  
**自分の人生を楽しむことができるようになりました！**

親の前や上司の前で「いい子」を  
演じている人も演じていた人も多いはず。

**もし、あなたがそうであるなら、  
ぜひともこの後の詳細なプロフィールを読んでほしいです。**

正直自分の両親と深い話をするのがなかなかないかもしれませんが  
僕のプロフィールを読んで話がしたくなったという人もいました。

もしかしたら子育てにも活用できるかもしれません。

**僕のすべてを載せたプロフィールになっています。**

ぜひ読んでみてください^^



## 高居翔のプロフィール

### <実績>

2013年9月からネットビジネスをスタートして

2ヶ月後には報酬 **12万確定** しました！

#### ■ 未確定報酬 ?

未確定報酬額	昨日までの累計	昨日
	15,800円	0円

**kai**

#### ■ 成果確定レポート[月別] ?

※報酬額は税込です

年月	確定件数 <b>グラフ</b>	確定報酬額 <b>グラフ</b>
2014年02月	0	0.00円
2014年01月	1	9,000.00円
2013年12月	4	29,990.00円
2013年11月	2	21,700.00円
2013年10月	2	314.00円
2013年09月	0	0.00円
2013年08月	0	0.00円
2013年07月	0	0.00円
2013年06月	0	0.00円
2013年05月	0	0.00円
2013年04月	0	0.00円
2013年03月	0	0.00円
2013年02月	0	0.00円
2013年01月	0	0.00円
2012年12月	0	0.00円
<b>合計</b>	<b>9</b>	<b>61,004円</b>

**61,004円** ←

**61,004円**

#### ▼ 月別レポート

年月	デバイス	表示回数	Click数	CTR	発生数	発生報酬	CVR	承認数	承認報酬	未承認数	未承認報酬	Click報酬	報酬合計
<b>kai shota</b>													
2013/11	PC	0	3	0	3	20,307	100	0	0	0	0	0	0
	SP	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	TAB	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	全体	0	3	0	3	20,307	100	0	0	0	0	0	0
2013/12	PC	0	0	0	0	0	0	2	20,000	0	0	0	20,000
	SP	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	TAB	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	全体	0	0	0	0	0	0	2	20,000	0	0	0	20,000
2014/01	PC	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	SP	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	TAB	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	全体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2014/02	PC	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	SP	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	TAB	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	全体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	PC	0	3	0.00	3	20,307	100.00	2	20,000	0	0	0	20,000
	SP	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0
	TAB	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0
	全体	0	3	0.00	3	20,307	100.00	2	20,000	0	0	0	20,000

**20,000円** ←

**20,000**

## 高居翔のプロフィール

現在のランク **ゴールド会員 kaishota** 有効判定回数 **3回** (1回 5回 20回)

獲得ポイント **12,650pt** (1pt 2500pt 10000pt)

利用可能残高: **P 12,871ポイント**  
判定中残高: **P 9,700ポイント**  
宝くじ交換券残高: 14枚

**1ポイント1円なので12871円**

ランク対象ポイント明細 (それぞれの月に確定した件数とポイント数が表示されます)

年月	2013年9月	2013年10月	2013年11月	2013年12月	2014年1月	2014年2月	合計
有効判定回数	0回	0回	1回	2回	0回	0回	3回
有効ポイント数	0pt	0pt	1650pt	11000pt	0pt	0pt	12650pt

ポイント通帳 **kai shota**

2014年02月03日 16時17分 時点 ※30分後に最新情報に更新

現在のポイント **26,534 P**

現在のコイン **8 C**

予定反映中ポイント **0 P**

**1ポイント1円で26,534円**

そして初報酬から、**たった半年でコンサル業をするようになりました!**

コンサル生は平均で1ヶ月10万円稼いでいます。

しかも、そのノウハウを徹底的に教え込むので  
僕のもとを巣立ってコンサル業を展開していくことが確実にできます。

ネットビジネスで稼いでいる有名な人たちとは、  
比べものにならないほど初心者ですが、確実に稼いでいます。

## 高居翔のプロフィール

アフィリエイトやネットビジネスの世界では、  
月に100万円以上の額を稼いでいる人がいるのも事実です。

そういう人たちに比べれば、本当にまだまだです。  
それでも僕だからできることをやりたいと思っています！

それはお互いに本音でコミュニケーションしながら、  
協力して行い、励ましあいながら、  
そして有益な情報を交換しながら  
ネットビジネス・アフィリエイトを進めていくということです！

初心者に近い目線で、密にコミュニケーションを取りながら

**実績のない方に報酬を発生させることが確実にできます。**

**これに関しては誰よりも自信があるんです。**

本業の仕事の給料のほかに、自分で稼ぐことが10万でも20万でも稼ぐことが  
できたら、世界が変わると思いませんか？^^

もちろんその稼いだ金額を使って贅沢してもいいですが、  
さらなる投資をしてほしいと思っています^^

僕と一緒にネットビジネス・アフィリエイトをして  
最高に楽しい仲間になりましょう！



## <ネットビジネスに出会う前と後>

僕は、ネットビジネスと出会う前までは、  
自分がどんな人間なのか理解していませんでした。

というのも、人生において「やりたい」ことがなかったのです。  
正確には、「やりたいことをやってはいけない」と思っていました。

小さいころからサラリーマンになるために勉強して高校大学を卒業しました。

父親にはずっと大企業のサラリーマンになることが成功と言われてきたのです。  
つまり、「サラリーマンにならなければいけないと義務を感じていました。

そのため、自分がやりたいことをしてはいけない、我慢をしなければならない

そう思っていました。

そして就職氷河期にもかかわらず、親の期待通りに  
大企業のサラリーマンになることができました。

親にも褒めてもらうことができていました。  
将来安泰だと思っていました。

しかし、大企業のサラリーマンは、想像以上に辛いものでした。

親の前での「いい子」が終わったと思ったら、  
次は上司の前で「いい子」を演じなければいけなかったのです。

常にいい成績を出さなければいけなくて、理不尽なことを言われても従わなければい  
けないですし、上司に嫌われたら絶対に損だと思って「いい子」を演じていました。

すると次第に元気を失っていきました。  
自分の意見を誰かに言うこともできない孤独な状態でした。

## 高居翔のプロフィール

その時に考えていたのは、「何が目標だったのか」ということでした。

目標は「親の期待に応えるために大企業に就職する」  
それを達成してしまったので、さらなる我慢が相当辛かったです。

なんとかくらいついて会社に行っていましたが、一度でも嫌なことを知ってしまうとどんどん嫌なことばかりが目についてきてしまいます。  
そしてそれを我慢することが本当に苦痛でした。

結局、会社が僕の成長を考えてくれていると思っていたのは大きな勘違いで、会社にとって役に立つ人間に育てようとしていただけだったのです。

このまま後40年我慢を続け、いい子を続けなければならない  
そう考えた時、浮かんできたのは絶望のみ。

もう「いい子」でいる必要がないと思っていたのに・・・  
目標を達成できたと思っていたのに・・・  
結局は会社にとって都合のいい人間でいなければいけない・・・

**もう「いい子」でいるのは嫌だ！自分がやりたいことをやりたい！**

でも・・・どうしていいかわからない・・・

そんなことを頭の中でグルグルと繰り返していました。

そうしたら、いつのまにか会社に行けなくなってしまったのです。  
適応障害でした。

夜寝ようと思っても、次の日の会社のことを考えて眠れない  
だから翌朝は起きることができず、出社しようとする吐き気に襲われる・・・

そんな状況になってしまい、結局退職を勧められ、そのまま退職しました。

自分の人生のためにどうにかしなくては！  
そんな思いを持つも、しばらくは体調が悪くて何もできない日々・・・



しかし、散々大企業のサラリーマンを目指せと言ってきた父親が「すまなかった。早く自分のやりたいことが見つかるといいな」と言ってくれたのです。

その時に初めて自分は自分の好きなように生きていいのだと思うことができました。

そう思うと同時に、父親はこのサラリーマンを何十年と続けてきているということに初めて尊敬することもできました。

**好きなことを見つけてそれを仕事にしたい！**

そうは思っていたものの、好きなことをして生活することができる人なんて**一部の限られた人間だけ**と決めつけていました。

**好きなことを仕事にして生活できるわけがない**

好きなこと・やりたいことを仕事にするなんて絶対無理だ

それくらいネガティブな考えしか出てこなかったのです。

そして次第に自分の好きなことを探すのを諦め、再び社会人として就職を目指しました。

**それは、父親がリストラされたからです。**

一人のサラリーマンがリストラされることは珍しいことでもないですが、父親は全盛期の頃は年収 2000 万のサラリーマンでした。

しかし、段々と給与は下がり、遂にはリストラ。

その時の父の姿を見て、雇われて生きていくことすら厳しい現代で好きなことを仕事にすることなんてできるわけがないし、生活するためにも早く仕事を見つけなくてはいけないと思いました。

そのため、やりたい仕事ではなく、自由な時間ができるだけ多く取ることができる派遣の仕事を選んでいました。

その自由な時間を、人生を安泰させるための公務員試験の勉強に充てるようになりました。

## 高居翔のプロフィール

別にやりたいことではないけど、結局はみんな我慢しているから・・・  
公務員であれば、定年まで安泰して生活ができるから・・・

公務員という仕事に強い憧れがあるわけでもないですし、  
強い意志で目指しているわけでもないのに、  
勉強も続けることができず、挫折していました。

そして何もかもうまくいかなくなり、思考の中は以下のようなことばかり・・・

- ・定年まで仕事を続けていくこと
- ・それまでずっと「いい子」を続けなければいけないこと
- ・自分らしさを抑え続けて我慢して生きていかなければいけないこと
- ・毎日仕事して、寝るために家に帰るというルーティンワークをしたくないということ
- ・やりたいことを我慢しなければいけないこと

嫌なことばかりがどんどん出てきていました。  
もう何をしたらいいのかわからなくなりました。  
ここまで嫌なことにスポットが当たってしまうと自分を騙すことも  
修正することもできなくなっていました。

でもそんな時に出会ったのが**ネットビジネス・アフィリエイト**でした。

ネットビジネス・アフィリエイトと出会ったことで  
人生に対しての思いが180度方向転換しました。

月収100万円くらい稼いでいる実績を見て正直あり得ないだろうとも思いました。  
しかし、今の自分にはやりたいことがあるわけでもないし、正直このまま定年まで雇われ  
て働くということに絶望を抱いていました。

だから、これしかない！そう決断してこの世界に入ってきました。

ネットビジネスは

- ・いい子を続けなくてもいい！
- ・やりたいと思えることに挑戦できる！
- ・好きなことを仕事にできる！
- ・趣味を仕事で我慢しなくて済む！
- ・自分ですべての仕事を創造できるので、我慢をして仕事しなくて済む！
- ・自分という人間を思い切り表現してもいい！

そして、**自分の夢**を持つことができる！

いままでずっと親の期待を背負ってきたので、夢を持ったことのなかった僕でも夢を持つことができ、毎日楽しい人生を送ることができています！

その夢は

- ・日本一周&世界一周！
- ・いい子でいる必要はないといい子でいる人たちに伝えたい！
- ・たくさんの人に、人生を思いきり楽しむことを決断してほしい！
- ・さらには、僕と同じような境遇で苦しんでいる人を仲間として救っていきたい！
- ・やりたいことがわからない人の手伝いをしたい！
- ・我慢をする必要なんてないことを伝えたい！

こんな思いで、ネットビジネスをしています^^

会社に勤めていれば、本音で語り合うことはなく、愚痴や傷の舐め合いになっていませんか？

常に成績優秀な部下でいるために「いい子、いい人」を演じていませんか？

趣味を思いきりやりたいけど、仕事のことを考えて我慢していませんか？

自分の人生を楽しむことを諦めていませんか？

親のために自分が我慢していませんか？

それってあなたの成長に繋がっていますか？

ただ、仕事のために自分のことを抑えていませんか？



## 高居翔のプロフィール

我慢せずに仕事することで成長することができる、それがネットビジネス・アフィリエイトです。

もちろん、我慢をして仕事をすることで成長することもあります。でも本音で自分の意見を言うことができれば、もっと多くの気づきがあります。

僕は、もっともっと成長したいのでたくさんの人と仲間になりたいです^^

正直ネットビジネス・アフィリエイトは孤独な作業になりやすいです。だからこそ、仲間の存在は大きいのです。

様々な情報交換はもちろんのこと、たくさん仲間で楽しい人生を送ることができる、それが一番大きい役割だと思います^^

## 僕と仲間になって一緒に夢を叶えましょう！！

ここから先は今の自分にたどり着くまでの道筋をストーリーにしました。

高居翔という男がどのように生きてきたのか、それをすべて見てほしいと思ったので書きました。

**ネットビジネスに出会うまでは、人生に絶望していた男が今では夢を持って人生を楽しんでいる男に変わりました！**

どうしてそんな風になったのか、上には書いていないこともたくさんあります。

興味のある方は読んでくださいね^^

<父親が怖くていい子を演じていた幼少期>

0歳

埼玉県川越市で普通の家庭の第1子として生まれました。

7歳

小学校入学 基本的には真面目な少年 この時から鍵っ子でした。

父親は特に厳しく、怖かったので、このころからいい子を演じていました。

9歳

小学校のドッジボールのスポーツ少年団に入団

練習はついていくのが精一杯で、何度も吐きそうに

何回泣いたかわからないし、悔しい思いもしました。

それでも毎週楽しみにしていて、このころから負けず嫌いでした。

10歳

担任の先生が異常にいじわるに感じて怖くて仕方なかったです。

また父親のことはこのころから苦手であり、恐怖の対象でした。

というのも、常に勉強をしなさいと言われていました。

テストの結果が悪ければ、正座で1時間の説教をされます。

そして何か失敗をすればすぐに怒鳴られ、

常に機嫌をうかがいながら生活しなければいけなかったのが本当に恐怖でした。

そのため、このころからずっと**大人の男性に対する抵抗・苦手意識**を感じています。

父親の言うとおりにいい子でいなければいけないので、

成績にも常にプレッシャーがありました。

親には絶対に逆らってはいけない

それが掟でした。

＜自分の夢や意思がなかった、親の自慢のいい子を演じる少年＞

12歳

今まで楽しかったドッジボールを本気で辞めたいと思うようになります。

その理由は父親が練習に参加するようになり、監督をするようになったのです。  
そのこと自体がものすごく居づらいことであり、チームも全然強くもならない・・・

僕だけがひいきされている気がしていました。

それまで監督をやってくれていた人にそのままやってほしいとみんなが思っていたのです。

だから、やめたかった。でも、親にはそんなこと言えず、手紙を書いたけど、渡せず・・・

**反抗することなどできなかったのです。**

そして以前の監督と現監督の父親が揉めて、父親が辞めることになりました。  
そして強制的に僕も一緒に辞めることに・・・

僕としては、今まで一緒にやってきたチームメイトを裏切りたくなかった  
それでも**親を裏切ることはできない**、本当に悔しかったです・・・

絶対に自分の意見を主張することは許されないことだと思いました。  
恐怖から自分の意見を言うことも、自分で自分のことを決めることもできなかった。

結局、その揉めたことから、中学もみんなとは違うところへ進学させられました。

**自分で自分の意見を言うことができない。  
親に言われた通りにしなければいけない。**

**だから親の前ではいい子を演じていました。**

**この頃から、将来の夢を持つことができませんでした。  
そのため、将来の夢という小学校の卒業文集は書くことができなかったです。**

親の言うとおりにいい大学を出て、大企業に就職することが唯一の成功と思っていました。



## <父親を見返したかった中学時代>

### 13 歳

自分の住所だけ祖父母の家に移すことで進学する中学校はまったくの知らない土地・・・

「やだな・・・」

「いじめられたらどうしよう・・・」

「友達できるかな・・・」

クラス発表から教室まで行く時、本当に孤独でした。

今までにないほどの孤独で逃げたかったです。

「なんで僕だけこんな思いでいなきゃいけないんだ・・・」

「帰りたい・・・」

でもそれがいけないことであると理解しているのです。

「親の前ではいい子でいなきゃいけないんだ！」

「それがお父さんお母さんにとって自慢なんだ！」

こんな思いで自分を震い立たせて教室に行き、なんとか友達も作ることができました。

部活はテニス部へ

別にやりたいものなんてなかったのです。

だから数少ない友達と一緒にテニス部に入りました

「ここで友達と別になっただけじゃ、また1から友達を作らなきゃいけないから・・・」

ネガティブな理由だけで自分の意思など考える余裕はありませんでした。

### 14 歳

親がずっと共働きで家にはいないので毎日のように部活後に友達と遊んでいました。

親の前ではいい子で演じていなければならなかったですが、

それ以外の学校生活や、放課後などは自分という人間が違っていました。

しかし、父親の前だけは、いい子でいなければいけないことが気づかぬうちにストレスになっていました。

中学校では小学校よりも勉強は難しいですし、定期テストもありますよね。そこでほとんどの学校は学年順位を算出すると思います。

父親は過程ではなく結果がすべてなので、結果しか見てくれません。結局学年順位がすべてで、そのプレッシャーは相当でした。

何度も説教され、何度も罵られ、何度も悔しい思いから涙も流しました。

**「親父を絶対に見返してやる！」**

そう思って勉強に火がついたのですが、すべてストレスでもありました。

### < 高校受験、初めての親への反抗、しかし・・・ >

#### 15 歳

怒りの感情から、見返すために必死に勉強した結果順位も上位に入れるようになりました。

しかし、父親はこの程度では満足しませんでした。もっともっと上を目指すためにもそろそろ塾に入れと言われ、自分で納得するレベルになっても、親が要求するレベルはもっと上だったということを知りショックを受けました。

成績が良くなっても褒められることはなかったのです。

褒められるどころか、もっと上を目指すために塾に入れと言われ、正直何のためにやっているのかわからなくなっていましたね。

しかし、断ることもできなかったので従うしかありませんでした。

**「親にとっていい子でいなければいけない」**

## 高居翔のプロフィール

これが本当に自分の首を絞めていました。

父親は、いい大学を出て大企業に就職することこそが人生における成功だと、ずっと僕に言ってきました。

だから、自分はそうならなければいけないと思いこんできました。自分にとって父親を反面教師にすることなどできなかったのですし反抗することなどありえないことだったのです。

そしていい大学にいける高校選びをしろと言われて、大学の付属高校から志望校を選びました。

正直なところ、僕が行きたい高校は他にありました。それでも、父親に他の高校に行きたいと言えるわけがありませんでした。

高校は行かせてもらうものですから、自分で選ぶものではないと思っていたのですが、友人たちは、行きたいと思う高校に行かせてもらっていることが不思議で仕方ありませんでした。

父親の言う通りにしなければいけないと常に義務を感じていたのです。

それでもなんとか第一志望の高校に合格することができたのに褒めてもらうことができず、むしろ、「もっと偏差値の高い高校を受けろ」と言われてしまい本当にショックでした。

第一志望の高校には、入学辞退するのにお金を払えばどうにでもなると言われました。

大人のやりかたを感じ、心底父親が嫌いだと感じました。

結局は結果がすべてであると考えているのでしょう。だから、偏差値で高校を決めようとしているのでしょう。

それにはどうしても同意することができませんでした。



志望していても落ちた人がいるのにもかかわらず、合格できた自分がお金を払って辞退することは間違っている。

父親の考え方には賛成できない自分がいたのです。

言葉にすることはできませんでしたが、拒否をするという行動によって初めて反抗した時でした。

しかし、親はその当時も今現在も、僕がそんな気持ちであったことを知らないでしょう。

そんなことを言えるような関係ではありませんでしたから。

ここまでの人生では本当に父親が苦手でしたが、反抗することはもちろんできないですし、はっきり言って家族は冷め切っていました。

僕は、家族と一緒にいる時間が一番苦痛な時間でした。

### <勉強ばかりの孤独な高校時代>

#### 16歳

高校入学しても本音で話せるような友達などできなくて、クラスに入っても楽しそうにするのが辛かったです。

それでも親に心配や迷惑をかけてはいけないと思い勉強は必至に頑張っていました。

高校のお昼休みは、友達と教室や食堂などで楽しく食べたり、友達数人とグラウンドで運動したり、部活の練習をしたりしますよね。

僕の通っていた高校ももちろんそうで、周りの人たちは楽しそうにしていましたね。

しかし、僕はいつもお昼休みになる前に食事を済ませ、45分ほどある昼休みを必ず図書室で勉強して過ごしていました。

「今楽しそうにしている人は絶対に後で後悔するんだ！」

「僕は大企業のサラリーマンにならなきゃいけないんだ」

そんな風に思って高校時代を過ごしていました。

それが親のためであり、自分にとってそれが一番大切なことだと思っていました。

そうしなければいけないと義務を感じていました。

その成果なのか、高校時代は400人いる学年で常に10番以内には入っていました。

しかし、それでも父親に褒めてもらえることはありませんでした。

だからひたすらに勉強していました。

### <進学、親の期待と自分の気持ち。期待に応えなければならない>

#### 18歳

いよいよ大学進学のことを考える高校3年生になりました。

大学の付属高校なので、大学には簡単な試験で進学する人と違う大学に進学するために、大学受験をする人に分かれていきます。

また、専門学校に進学する人や海外留学に行く人もいました。

みんなそれぞれやりたいことを探し、それを見つけて進路を決めていました。

もしくは、小さいころに描いた夢を追っている人もいました。

やはり高校の先生は、やりたいことを考えて行きたい大学・学部を選ぶように言ってきます。

どんなに考えてもやりたいことはありませんでした。

サラリーマンにならなきゃいけないということに変わりなかったのです。

## 高居翔のプロフィール

どうすればいいかわからない  
親に相談することはできない

その理由は、言われることは分かっていたからです。  
大学にそのまま進学して、大企業に就職しなさいと・・・

高校の先生には、  
何がしたいかわからないのであれば、他大学受験の準備を進めるべきだと言われました。

大学受験をするべきだと思いました。

どうせサラリーマンになるのなら、大学には行かなくていい  
だったら、ここで挑戦することが必要な気がする

**勇気を持って親に話しました。**

親と話すことも相当な勇気がいるのです。

しかし

- ・浪人したらどうするのか
- ・そんな余裕は家にはない
- ・弟の高校受験でいっぱい
- ・大学の受験費用もない
- ・そもそもそんなリスクを背負う必要はない
- ・このまま就職まで安泰なんだからと言われた

親には散々反対され、何も言えなくなってしまいました。  
大学受験したいと強くは言えませんでした。



親の言う通りにすることが当たり前と感じていた僕にとっては、  
自分の人生は親のためにあると考えていました

親に自分の意見を言うことなど今までずっとできなかった僕は、  
今回も従うしかなかった・・・

親とコミュニケーションを取るのが怖くなっているのです。

それでも、何不自由なく塾、私立の高校、私立の大学へと通わせてもらっていることへの  
感謝を告げました。

それは今までずっと「いい子」で生きてきたから、  
「いい子」はそういうことをしなければいけないという固定観念があったからでしょう。

## <大学入学。常に孤独。入院・・・>

### 19歳

大学には結局高校からエスカレーターで入学しました。

そのため、ガリ勉だった僕が急に友達を作ることはできませんでした。

同じ高校の人がたくさんいるため、変な目で見られるのではないかと  
過剰に気にしていました。

だから、大学で友達を作ること自体が怖かったです。

どうせ最初だけ仲良くなっても後から嫌われると思い  
話しかけることができなかったのです。

授業は本当に退屈でした。

何をやってもつまらなくて、単位のために出席することがほとんど

## 高居翔のプロフィール

こんなことが何の役に立つのか  
そんなことから、様々な本を読むようになりました

小説を読むことが多かったのですが、次第に自己啓発本を読むようになり、  
自分のことを考えるようになり自分のことを見つめるようになりました。

そこで出てくるのは  
「やりたいことがない」  
「夢がない」  
「人と話すことが苦手」  
「楽しいと思えない」

だから、生きていても本当に辛かったです。  
ネガティブなことばかり浮かんできました。

いわゆる「ぼっち」だったわけです。

このころ全盛期だった mixi  
この mixi に登録したことで、リアルの友達からリクエストが来る

すると、mixi 内で楽しそうにしている友達の日記などを見ることができのだが、  
それがあまりにも自分の孤独感を増長させてきました。

自分はそんな楽しいことを書くようなことが全くない  
うらやましかった・・・  
自分には今大学に友達がいない・・・

マジでつまらない・・・  
もういやだ・・・  
僕はこれからずっと一人だ・・・

## 高居翔のプロフィール

いっそ死んだら楽になれるのかもしれない。浅はかですが、それくらい病んでいました。

そんな最悪の精神状態でいたら身体にも不調が出てきてしまったのです。

扁桃腺周囲腫瘍

水が飲めない

食べ物が食べられない

話すことができない

常に痛みが伴うので、本気で死を意識しました。

3週間の自宅謹慎を経てようやく外出許可が出て

「このままでは単位がやばい」と大学に行きました。

結局は大手企業に就職するために大学に通っているので、

留年は絶対にいけないことであり、悪い成績も絶対にダメだ

そんなことを思っていたので、遅れていた分を必死に取り返そうと思っていたら、  
すぐに悪化してしまい、入院しました・・・

このまま治らなければ、死ぬのかもしれない

そんなことを考えると、今まで死にたいと思っていたことが嘘のように怖くなり

**もっと生きたい**

**もっと楽しいことがしたい**

**おいしいものが食べたい**

といろいろな欲求が出てきました。

しかし、一番強かったことは、

**本当の友達が欲しい**

**仲間が欲しい**

このままずっと一人なんていやだ

**もっと僕だって楽しく生きてみたい！**

そんなことを徐々に思うようになっていきました。



決して重い病気ではなかったですが、**心が病めば体も悲鳴をあげる**  
そんなことを学ぶことができました。

また、この経験があったからこそ、今の自分に辿り着いたと思っています。

この時に初めて、自分のやりたいことをやりたいと思うことができたのです。  
それまでは、決して自分の意思でやりたいことを決めることはありませんでした。

本当に入院中は辛かったですが、なんとか完治して退院することができ、  
親にはたくさん迷惑をかけてしまったので単位は絶対に落としてはいけないと思い  
猛勉強してなんとか単位を取りました。

少しでも自分のやりたいことをやろうと決めることができたので、  
就職までの大学生の期間は勉強と両立してやってみたいと思うことにチャレンジしよう  
と思うようになりました。

しかし、そのように思っているも、父親に自分のことを話すことはできませんでした。

### <自分の居場所。そして就活・親の期待という重圧>

#### 21 歳

自分にとって信頼できる先生、先輩、仲間に出会うことができました。  
それはゼミの先生であり、ゼミの先輩であり、ゼミの同期たちです。

自分は自分でいいということを認めてくれ  
自分のたったひとつだけの居場所を作ってくれました。

それまではいろんな場所で自分を演じていましたが、ここで初めて自分の居場所を見つけ  
ることができて楽しい生活を送ることができていたのを覚えています。

## 高居翔のプロフィール

初めて自分の居場所ができて、初めて自分の信頼できる仲間ができて本当に嬉しかったです。

それでも1人になれば、孤独を消すことができなかつたのです。

どうしても消すことのできないさみしさ

### 自分とは一体何者なのかを良く考えていました

ほしかった仲間や居場所を手に入れることができたにもかかわらず、やはり生きていくのは自分なのです。

仲間たちはみんな自分の意思をしっかりと持っていて、常に劣等感を感じていました。やりたいことに向かってまっすぐに進んでいる友人たちを見て羨ましくもありました。

この年に就活が本格的に始まりました。

父親に散々言われてきた大企業のサラリーマンになるための最後の試練でした。

しかし、大企業と言われても結局どんな会社を受ければいいのか全くわからずにいました。

だから、就活といっても合同セミナーやサイトを見ているだけで、何も進まずに時間は進んでしまう。

当時は就職氷河期であったため、優秀な学生ほど早くから就活をしていました。

リクルートスーツの学生を見るだけで

やばい・・・

このままでは、自分は売り残ってしまう

早く動かなければ・・・

と思いつつも

自分は何がやりたいのかなんて

どんなに考えても見つかりませんでした。

## 高居翔のプロフィール

正直なところ、働きたいとは思っていませんでした。

サラリーマンなんてやりたくない

そんなこと思っても口にすることはできなかった・・・

なぜなら、大企業のサラリーマンになることが人生の成功であると父親に言われてきたからです・・・

進捗状況はどうだ？

どこの会社を受けているのか？

ここの会社を受ける

事細かに様々なことを指示してきました。

父親としては、すべてアドバイスだったのでしょ。

でも僕にとっては、**すべてプレッシャーでした。**

本当に辛かった。

自分で就職先を決定することができないのだと思っていました。

結局は、親に言われて何社も受けていく毎日

何社受けてもなかなか思うように面接が進まない

自分はどこにも必要とされない人間なのだとも思いました。

逃げ出すことができたにも関わらず、

**親のためにも必死に就活をするしかなかった**



## 高居翔のプロフィール

必死になっていても父親にはダメ出しをされるので  
自分は本当にダメな人間なのかもしれないと何度も思いました。

何度も悔しい思いから涙を流したこともありました・・・

行きたいと思う会社が見つからない。

就活していると意思の強い人間や、大手に内定をもらっている人間など  
行きたいと思う会社を見つけてそこに向かって頑張っているのです。

そんな人たちを見ていると、別世界にいる人のようでした。  
なぜ自分のことをそこまですんなりと決めることができるのかもわかりませんでした。

しかしどうにかくらいについて就活を続けていくことでようやく大手 IT 企業の  
営業職として内定をもらうことができました。

親は満足してくれました。  
これで一安心できると思っていました。

内定をもらった企業に就職することについて納得していたわけではなかったです。  
その会社は営業の会社であり、相当きついノルマがあることも聞いていました。

正直、父親の影響から大人の男性が苦手であり恐怖の対象であったため  
営業には向いていないのではないかと

そう思ったこともありました。  
そういった不安から他の企業や大学院進学を考えるように・・・

しかし、自分で選択することなんて怖くてできなかった  
親に何を言われるかわからなかったのです。

そして自分に大学院進学などできないと決めつけてしまった失敗したときのことも怖かった

**親に反対されるに決まっていると思った**

そして何より、

**親からのプレッシャーをもう一度受けなくてはならないことが耐えられなかった**

そのため、大手 IT 企業からの内定を受理したのです。

いや、もう内定を受理せざるを得なかったのです。

**僕は親にとっていい子でいなければいけなかったのです。**

### <入社後に見た現実・・・>

#### 23 歳

大手 IT 企業に入社

しばらくは、研修で毎日部屋の中で会社のことをずっと勉強する日々それが終わると実際に現場に行って営業が始まりました。

自分がこれから 40 年以上もやっていくことは

毎日満員電車で揺られ

着いて早々会議で 1 日の予定を話し合っアポがなければどうするのかと怒られる。

アポがない限りはあっちこっち行って挨拶して、

次回の約束をなんとかしてこぎつけようと必死に願う。

昼に戻ってきてすぐに成果確認させられて

見込み客ができていなければ、どうするのかを問われる。

午後目一杯歩き回ってお願いをして回るも断られることばかり。

## 高居翔のプロフィール

そして戻ってきてから、成果報告をする。

そこで、次の日の予定を立てるために電話でアポを取ることや、事務仕事、会議や研修などを残業で行う。

毎日がこれの繰り返しに近いですが、予算はかなり高く設定されているので、社内はいつもピリピリしていました。

気の休まる時なんて本当になかったです。常に会社のために働き、上司の機嫌を損ねることだけはないように「いい子」を演じていました。

どんなに理不尽なことがあっても、社会人は上の人に従うべきだと思っていました。

会社の中で自分を表現することよりも、自分を抑えて都合のいい人間になった方が絶対にうまくいく、そう思っていました。

しかしそうは思っても、毎日行きたくない会社に行き毎日やりたくない仕事をやり、寝るためだけに家に帰る、そんな生活があと40年待っている。

そう思うとゾッとしました。  
人生って本当に辛いものだなと痛感しました。  
何も希望が出てこなかったです。

**それでも僕はくらいついて頑張りました。  
初任給で両親にプレゼントもあげました。**

親は喜んでくれました。僕が立派な大人になったと思ってくれたようです。

社会人になっても僕は、「いい子」でいたのです。  
絶望しか感じない人生など、誰にも感じさせないようにしていました。



## 高居翔のプロフィール

でも積み重なる精神的なストレス  
疲労感のとれない休日  
日曜の夕方になると迎える気の重さ・・・

少しずつ気付きました。  
もう会社に行きたくないという思いが強くなってしまって抑えることができないことを。

そして、ある営業している日の夕方  
急に暗くなって雨が降ってきていました。

その日も散々歩いて、散々いろんな会社を回って  
そして冷たく拒否されたお客様の会社を出た後でした。  
傘を持ってなかった私はずぶ濡れに・・・

雨の冷たさが身に染みてきて

本当に悔しくて

本当に辛くて

気付いたら泣いていました。

**自分がやりたいのはこういうことじゃない**

そして会社に行くことができなくなってしまい、自己都合で退職しました。

もうやりたくないことをやらなくて済む！  
本当に解放された気分でした。

しかし、退職する寸前には、会社に行けなくなっていた僕を見て  
父親は何度も喝を入れられ何度も怒られました。

しかし、もう父親の前で「いい子」を演じることもできないくらい弱っていました。

当時の精神状態を思い出すこともできないくらいうつ状態でした。

### <退職後、父親の気持ちを知る。>

辞めたあと父親には

申し訳なかった  
新卒で入社した会社でキャリアを積ませてやるができなかった  
早くやりたいことを見つけて頑張れ

と言われました。

僕は、父親の言うとおりの人生を歩めなかったことへの反省と  
父親が僕のやりたいことを見つけて頑張ってもらってほしいと思ってくれること

ようやく肩の荷が下りた気がしました  
僕は僕のやりたいことをやっていいんだと思えたのです。

これから、本気でやりたいことを探さないと！  
必死に行動しなければ、親に顔向けできない

ニートになったのでやりたいことを探そうと

いろんな場所へ行ったり、  
セミナーに出たり、  
読書したり、

というような生活をしていました。

それでも「これがやりたい」と思うことに会うことができずに  
ただ時間だけが過ぎていくそんな日々でした。

そのため、将来に対する絶望が毎晩のようにやってきて、  
次第に昼夜逆転した生活になっていました。

### <好きなことをして生活する人に憧れて・・・>

毎日好きなように生活をしているものの、  
常に人生に対する不安というものを抱えていました。

ニートという肩書きによって劣等感を感じ、  
常に生きることが辛くて、どうすればこれが変わるのか  
毎日のように考えていました。

そしてその答えはやはり「好きなこと、やりたいことを仕事にする」  
ということでした。

しかしそれができていれば、苦勞して我慢している人なんていないはず。  
それを実現することが難しいから、多くの人が我慢しているのです。

しかし、「好きなこと、やりたいことを仕事にしている人」に  
出会う機会が何度もありました。

今までの人生を変えるような出来事であり  
この出会いがなければ今はもっと多くのことを悩んでいたと思います。



そして、その人たちが共通して言っていたことは、

「人生に起こることはすべて必然であり、すべて自分の成長のためである」

ということです。

そのため、ここまで悩んできたことすべて間違いでもなく  
遠回りでもないということを教えられました。

そして好きなこと、やりたいことを通して人のために行うことが  
一番の成長になるということを教えてもらいました。

その人たちは、会社にいたころの先輩や上司たちとは違い  
いきいきとしていて人のためになることを本気でやっていて  
輝いていました。

いつかこんな人になりたい

自分の好きなことをして生活することが  
人生において成功なのかもしれないと思うようになりました

それでも

自分にとって本当に壁の高いことなので、**できないこと**なのだろう

自分のやりたいことを仕事にしている人なんて  
ほんの一握り・・・

そんなことを言っている人が自分の周りには多かったです。  
だから、そう強く思うことがやっぱりできなかったのかもしれない。

それでも、自分の好きなことを仕事にしたいと思って必死に探していました。

人生とは何か

## 自分は何がやりたいのか

考えても考えても見つからない日々・・・  
いくら考えても答えは出ないのです。

だから余計に苦しくなり、苦しいから次第に考えなくなって・・・  
現実逃避からパチンコをしてお金は尽きてしまいました。

働かざるを得ない状況になってしまったのです。

## <結局好きなことは見つからないままフリーターへ>

実家に暮らしていたのでライフラインはなんとかありました。  
しかし、さすがに親と顔を合わせるのが辛いのでとりあえずバイトをしようと思い、  
子どものスイミングのコーチのバイトを選びました。

選んだきっかけは、教えるということを学んでみたいと思ったこと、  
大人と話をするのが苦手なので、子どもと話すのは得意だったことでした。

このバイトをして認識したことは、  
子どもが好きということ  
教えることが好きということ

スイミングのバイトは、子どもの成長を間近で見ることができ  
**感謝してもらえらる仕事でやりがいがありました。**

自分にも好きなことが見つかったので、仕事自体は思った以上に楽しかったです。  
しかし、低賃金なうえに仕事量は多く、また、人間関係は非常に悪い職場でした。

常に誰かが誰かの悪口を陰で言っていることや、会社としての方針と、上司や他の社員やバイトの考え方がそれぞれバラバラなため、うまく付き合っていくのが辛かったです。

### <父親のリストラ・・生活のためフリーターから再び社会人へ>

#### 24 歳

スイミングのバイトを辞め、別の子どもと接する派遣の仕事に就きました。

スイミングのバイトは本当にやりがいのある仕事でしたが人間関係に苦労したことと収入が少ないために生活するのがきびしかったことで自分の気持ちがこのまま続けてはだめだと思ったからです。なぜ続けてはダメなのか？

やはり、サラリーマンになって毎月安定した給料をもらうために我慢して働くしかないいつリストラされるのかわからなくても毎日必死に仕事をするしかないとにかく今よりもっと多くの収入を得なければならない

そんな風に思うようになっていたからです。

なぜそう思うようになったのか？

**それは、父親が長年働いてきた会社をリストラされたからです**

とにかく生活を支えるために今の仕事では支えることができないそれが仕事を変えた大きな理由でした。

一人のサラリーマンがリストラされることは珍しいことでもないですが、父親は全盛期の頃は年収 2000 万のサラリーマンでした。

しかし、それも段々と給与は下がり、遂にはリストラです。



## 高居翔のプロフィール

その時の父の姿を見て、  
雇われて生きていくことすら厳しい現代で好きなことを仕事にすることなんてできるわけがないし、生活するためにも早く仕事を見つけなくてはいけないと思いました。

そのため、やりたい仕事ではなく、  
自由な時間ができるだけ多く取ることができる派遣の仕事を選んでいました。

その自由な時間を、人生を安泰させるため  
公務員試験の勉強に充てるようになりました。

**別にやりたいことではないけど、結局はみんな我慢しているから・・・  
公務員であれば、定年まで安泰して生活ができるから・・・**

しかし、強い意志で目指しているわけではないので、  
勉強も続けることができませんでした。

- ・定年まで仕事を続けていくこと
- ・それまでずっと「いい子」を続けなければいけないこと
- ・大人の男性に怒られてしまうことを常に恐れて仕事をしなければいけないこと
- ・自分らしさを抑え続けて我慢して生きていかなければいけないこと
- ・毎日仕事して、寝るために家に帰るというルーティンワークをしたくないということ
- ・やりたいことを我慢しなければいけないこと

嫌なことばかりがどんどん出てきて、もう何をしたらいいのかわからなくなりました。

今の仕事は特に、人間関係に悩んでいます。  
やはり大人の男性が苦手であり、特に上司の目が怖く感じるのです。

高圧的に怒られてしまうのではないかと感じてしまうことで  
なかなか自分を表現することができないのです。  
常に被害妄想をしていました。

自分はここにも何も役に立つことができない。  
むしろ常に邪魔な存在だと思われているのではないか。  
仕事ができない人間だと思われているのではないか。

そんな不安が常にあり、それがストレスになっています。

また、スイミングの時のような子どもとのふれあいは全くなかったのです。

子どものためになることをしたい

自分と同じようにやりたいことがみつからない子どもを見ていると  
辛くなってきました。

いつか、自分がやりたいことを見つけ、  
少しでもそんな人のために何かできることがあれば、救えるかもしれない

そんなことを考えるようになりました

<好きなことを仕事にしたい・・・

情報収集を続けて、ネットビジネス・アフィリエイトに出会う>

25歳

僕がやりたいこと、それは、

**悩んでいる人のためになることがしたい**

僕がこれだけ苦しんでいるということは、他にもたくさんの方が苦しんでいるだろう。

僕がいつの日か好きなことを仕事にして、同じように悩んでいる人に  
アドバイスすることや相談に乗ることができたらいいな

このまま今の仕事をしていても

ストレスと闘いながら、週末だけを楽しみに過ごすだけになってしまう

こんな思いを抱くようになってきました。

それでも生活を支えるためにやらざるを得ない仕事・・・  
これが生きるということ・・・？

そうだとしたら、後 40 年以上続けなきゃいけない

将来が絶望的すぎる・・・

やはり自分が好きなことを副業でも、趣味でもいいから増やさなきゃ楽しくない

自分探しとして様々な自己啓発本や、インターネットでブログなどを読みました。

やはりそこで一貫して自分の中に響いていたことは、

「**自分の好きなことを仕事にする**」ということでした。

これができれば、自分の人生が自分のものと感じられ、  
生きがい、ライフワークになって  
もっとバイタリティ溢れると書いてあること

そして「やりたいことを探そう」と書かれた本が目につくようになりました。

自分が本当にやりたいことを見つけること自体、大変であり  
そのためには、様々な経験をしなければならないということ



頭では理解していました。

でも、**行動に移すことがなかなかできずに 25 歳になっていました**

このままでは、本当にマズイと危機感を抱くように・・・

自分の好きなことを仕事にすることができたらどんなに楽しいのだろう

**でも、自分が好きなことで仕事になりそうなことがない・・・**

正直諦めていました。

でもそんな時に、

**「アフィリエイト」「ネットビジネス」**

に出会ったのです。

そういう世界があることをなんとなく知っていましたが、  
怪しさや胡散臭さというものを強く感じていました。

ブログやメルマガなどを運営することで月に 5 万は稼げることや  
稼ぐ人では、月収 100 万以上の売り上げをあげていることなど  
正直信じられなかったです。

しかし、この世界で成功している人たちの生活を見ると憧れました。

好きなことを仕事にして生活しているということはもちろんのこと、  
仕事をする場所も自由、仕事をする相手を選ぶことも自由、  
そんな生活に単純に憧れました。

## 高居翔のプロフィール

そしてそんな生活ができれば、人生に希望の光が見えてくるのだろうなと思いました。

そしてある人のメルマガを読みアフィリエイトの仕組みを理解し、  
正当なビジネスであるということを知ったことで  
怪しさや胡散臭さというものを感じなくなっていました。

その人からアフィリエイトディスカバリーという商材を紹介されました。  
30日で5万円を稼ぐことができるというメルマガアフィリエイトについての商材

購入するかどうか、正直なところ相当悩みました。  
情報商材を買ったこともないですし、値段も決して安くはないです。

もちろん貯金もないです。

もしかしたら騙されるのかもしれない・・・  
もしかしたら詐欺かもしれない・・・

でも！

自分の人生を思い切り自由に楽しく生活するためには  
この世界に飛び込んでみるしかない！

自分の人生を変えることができるのはここかもしれない！

ダメでもともと！  
一回だけ信じてみよう！

行動することが、自分を知る第一歩だ！

自らの人生を手に入れるため、  
自由を手に入れるため、

自分の人生を最高にするために・・・

## 決断しました

### アフィリエイトディスカバリーを購入

買うと決めた瞬間には不安はなく、期待でいっぱいでした。

そして商材に沿ってアフィリエイトを進めていく  
順調と言えるほど作業は進んでいるように思えました

### <アフィリエイト参入、しかし・・・成果が出ない>

商材内の動画や資料を見て、  
自分なりに解釈してPCに書き起こして・・・

とりあえず、ブログを始めようと思ってアメブロで毎日記事を書くようにしていました。

でも肝心のメルマガを発行することが  
1ヶ月たっても2ヶ月たってもできていなかったのです。

僕は、アフィリエイトディスカバリーを**購入しただけで満足していたのです。**



ネットビジネス・アフィリエイトの知識を得ることで成長した気になっていました・・・

僕はノウハウコレクターになろうとしていたのです。

すべてを理解してからでないと動くことができない  
自分にメルマガを配信することなんてできるわけがない

具体的に進めなければならない作業に時間を取らなくなっていく・・・  
いつもと変わらない毎日へと戻っていく・・・

商材を買って、商材に沿ってインプットばかり・・・  
ネットビジネス・アフィリエイトの知識ばかりが増えていくものの、  
何からやっていいのかわからなくなっていました。

いわゆる頭でっかちな状態です。

行動に移すことができないから、何も定着しないし、結果なんてでない・・・

結局、今までもそうでしたが、  
自分で決断してこなかったことから、  
目標を決めてもやりきる前に諦めてしまっていました。

そしていつのまにか、

「アフィリエイトディスカバリーの購入代金だけは稼がなきゃ・・・」

なんて思うようになって、低額報酬の自己アフィリエイトばかりをこなしていました。

(自己アフィリエイトとは、

## 高居翔のプロフィール

自分で自分が貼った広告をクリックして利用することで報酬をもらう方法)

FX、クレジットカード、保険相談など高額報酬の案件には、手を出してみたいもののリスクが怖くてできない

だから、商材代を取り返すことなど相当先になると思っていました。

アフィリエイトを初めて 5000 円を稼ぐことがどれだけ大変なことか多くの人がそこに辿り着けず挫折して辞めていく

僕もそんな 1 人になっていました。

5000 円稼ぐことができるまでには、大変な作業がいくつもあります。

その作業を行うまでには相当な労力を必要としますからインプットばかりで終わってしまうのです。

インプットすることで「明日やろう」「今度やろう」と先延ばしにしていくことで結局は何からやればいいのかが整理できない状態でした。

全く何をしていたかわからないから、ブログも次第に放置するようになっていました。

でもなんとか稼げる方法を見つけないかと思って情報収集を続けていました。

そんなとき、自己アフィリエイトについて詳しい人をメンターにすることができるチャンスがありました。

その人のコンサルを受けるのは安くなかったのでものすごく考えました。

しかし、報酬がコンサル料を絶対に越えることを確信したこと

## 高居翔のプロフィール

本当に信頼できる人だと感じたこと

そして何より、商材を買った時のことを思い出したからです！

**自分の人生を変えるために決断したんだ！**

**自分の人生を最高にするために決断したのに  
このままじゃ今までと同じじゃないか！**

そしてコンサルを受けることを決意しました

**この決断のおかげで本当に人生変わりました**

たった1ヶ月で報酬が10万を越えました。  
作業が本当に楽しくなりました！

**自分の人生を自分の好きなように生きていいんだと思えるようになりました。  
自分の将来にも光が見えています。**

今まで、そういったことを考えたこともなく、  
どちらかといえば、自分の人生ではなく、親や周りの人の人生を生きてきました。

それでもこの世界に入ったのは、  
**自分のやりたいことをやらなければ、本当につまらない  
自分のやりたいことをやっている人は、本当に楽しそう**

ここがすべて**決断**に至った理由でした



そして、新たな**夢**として、

- ・アフィリエイトを始めてから実績が出なくて諦めている人に実績を作ってもらいたい
- ・ネットビジネスを始めたばかりの人に情報提供したい
- ・自分のように、やりたいことが見つからない人への手伝いをしたい
- ・やりたいことがわかっていても、踏み出すことのできない人に決断の手伝いをしたい
- ・自分と同じような境遇の人たちで集まって仲間を作って居場所を提供したい
- ・モラトリアムからの脱却をはかろうとしている人に参考になるような生き方がしたい

そして

世界一周したい

日本一周したい

時間・場所に縛られない自由な生活がしたい

自由を楽しみたい

そして両親・家族に恩返しをしたい

そんなことを思うことができるようになりました

この夢を1日でも早く実現するために行動しています^^

最後まで読んで頂きありがとうございました^^

ネットビジネス、アフィリエイトに出会ったことで、  
今まで繋がることのなかった人と仲間になることができました。

そんな人たちに僕は僕でいいと思わせてもらったのです。

## 高居翔のプロフィール

だから、あなたはあなたでいいのです。

もし僕のように今まで「いい子」で生きてきたのならば、本当に苦労したことでしょう。

会社でも「いい子」を演じていれば  
出世もしやすいですし、人間関係もうまくいくかもしれないです。

でも僕は、それに耐えることを辞めました。  
「いい子」でいる必要なんてないと思いました。

「いい子」を辞めたから、夢や、やりたいことが見つかりました。

だから今は、毎日希望にあふれています^^

あなたが成長するためには、ありのままのあなたを表現することが大切です。

「いい子」でいる必要などないのです。

あなたが「いい子」である必要のないネットビジネスの世界に入って  
あなたが好きなことをして生活するためにも

僕と仲間になってください^^

仲間を増やして、僕のように悩んでいる人を少しでも救いたいと思っています。

いつか仲間になってくれたみなさんと

## 高居翔のプロフィール

どこかに遊びに行ったり、旅行に行ったり、飲み会したり、

自由を思い切り満喫したいと思っています^^